

学校教育目標

- ◎自己の可能性を信じ、何事にも主体的にチャレンジする生徒の育成
- ◎広い視野を持ち、地域社会の形成にすすんで参画できる生徒の育成

総合学科

笛吹高校の3年間で身に付けてほしい力

- 将来の職業選択を視野に入れた自己の進路への自覚を深め、心豊かに主体的・創造的に生きていくことのできる資質や能力を育成する。
- 個性を生かした主体的な学習を通して、学ぶことの楽しさや、成就感を体験し、学習に対する意欲や態度を育成する。

1年次の目標

『産業社会と人間』の時間、授業体験、社会人講話等を通して、自己を見つめ、地域や社会を考え、将来にわたる生き方あり方について考えを深める。自分の興味・関心や適性・能力等を見出し、自分に合った進路目標の決定に努める。

2年次の目標

目指す進路実現に向けて、自分の適性や進路希望に応じた科目選択・系列選択を行い、専門的な知識・技術を習得する。

3年次の目標

明確な目標意識を持ち、自分の夢や興味関心に応じた知識や技能をさらに究め、進学や就職に対応できる実践力を身につける。

学ぶ皆さんへの助言・アドバイス

2年次以降の具体的な選択科目を決めるために、1年次では自分の個性や適性を発見し、将来の進路や生き方、学習の仕方などを学び、「なりたい自分」探しをします。講演や体験学習を通じて、自分のこととして捉え、職業研究や進学研究をし、理想とする人物の姿を思い浮かべて自分がどう生きるべきかを考えながら授業に取り組みましょう。

2・3年次では、自分の適性や進路希望に応じた科目選択・系列選択を行い、専門的な知識・技術を習得するとともに、将来の職業生活に必要な態度や能力を養います。就職・進路の幅を広げられるよう真剣に取り組みましょう。

	教科	科目	
1	国語	現代文B	
2	地理歴史	地理A	
3	理科	生物基礎	
4	保健体育	体育	
5	保健体育	保健	
6	外国語	コミュニケーション英語Ⅱ	
7	芸術	音楽 I	選択 1
8	芸術	美術 I	選択 1
9	芸術	書道 I	選択 1
10	国語	国語表現	選択 2
11	数学	数学Ⅱ	選択 2
12	外国語	英語理解	選択 2
13	芸術	クラフトデザイン	選択 2
14	家庭	服飾手芸	選択 2
15	商業	ビジネスマナー	選択 2

人間科学系列福祉コース

16	家庭	生活産業基礎	
17	家庭	子どもの発達と保育	選択 3
18	家庭	ファッショント造形基礎	選択 3
19	家庭	食文化	
20	福祉	社会福祉基礎	
21	福祉	こころとからだの理解	
22	福祉	介護福祉基礎	

平成 30 年度 年間シラバス（生徒配布用）

教科・科目	家庭・生活産業基礎	単位	2	履修区分	必履修	・ 選択			
対象学年・類型・コース	2年・総合学科・人間科学系列								
使用教科書	生活産業基礎 (実教出版)								
目標とする生徒の将来像	衣食住、ヒューマンサービスなどに関する生活産業や関連する職業への関心を高め、必要な知識と技術を進んで習得し活用する意欲と態度を育てる。								
評価の観点	<p>【関心・意欲・態度】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・意欲的、積極的に課題解決しようとしているか。 ・生活産業の職業人に必要な知識と技術を進んで学び、活用しようとしているか。 <p>【思考・判断・表現】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・自身を取り巻く生活について見直し、課題をみつけ、その解決を目指して、学んだ知識・技術を生かしたいくつかの方法を比較検討し、意思決定をするなど工夫し、創造しているか。 ・調査・観察などの技術やまとめて表現できる技術などを身につけているか。 <p>【技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・他の検定・授業で身につけた知識や技術を適切に表現しているか。 <p>【知識・理解】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・洋服の歴史、立体構成、被服材料について基礎的な知識を身にっているか。 ・山梨の特産品について調査し、知識として身にているか。 								
学期	期間	単元・教材名	主たる目標	評価の観点					
1 学期	第2回定期試験	生活産業基礎を学ぶ 生活に対応した商品・サービスの提供 食生活関連分野の産業と職業 ・地元の特産品について	<ul style="list-style-type: none"> ・生活産業基礎を学ぶにあたり、学習の意義、内容を理解する。 ・生活産業基礎を学ぶにあたり、学習の意ぎ、内容を理解する。 ・市場の商品がどのように企画・開発されているかを知り、サービスの提供について考える。 ・食生活の変化と生活産業のかかわりを考える。 ・地元の特産品（食材）に目を向ける。 ・地元が食材をどのようにPRしようとしているのか調査する。 	【関・意・態】 【思・判・表】 【技】 【知・理】					
2 学期	第4回定期試験	・地元食材を使った調理レシピの考案 ・地元食材を使った調理実習 衣生活関連分野の産業と職業 ・わが国の衣生活の変化	<ul style="list-style-type: none"> ・地元の食材をどのようにしてPRできるのかを積極的に考えることができる。 ・自分たちで調査したことをまとめ、発表することができる。 ・発表の仕方について工夫することができる。 ・調査し、発表したレシピを実際に作ってみて確認する。 ・また、積極的な意見交換を行い、相互評価する。 ・意見を参考にレシピを再考する。 ・わが国の衣生活の変化について考える。 	【関・意・態】 【思・判・表】 【技】 【知・理】					
3 学期	第5回定期試験	ファッション産業の仕組み ・被服製作 衣生活関連分野の産業と職業 ・住生活の変化と生活産業のかかわり ・現代の生活・生活課題と住まい	<ul style="list-style-type: none"> ・モノを利用し、最近のものを型紙から製作してみると成り立ちを知る。 ・住まいとは何かを考える。 ・設計図を書けるようにすることで、住まいの構造を理解し、課題を見つける。 	【関・意・態】 【思・判・表】 【技】 【知・理】					
	検定資格（時期） ・ 諸費用（予定）	実習材料費 300円程度（徴収予定）							
	履修にあたって	<ul style="list-style-type: none"> ・生活産業が消費者の多様なニーズにこたえて商品やサービスの提供を行うことによって人々の生活を又豊かにしていることを認識し、生活産業や関連する職業に必要な知識と技術を進んで習得し、職業人として活躍しようとすると意欲と態度を育てる。 ・必要な知識と技術を学び、生活の質の向上と社会の発展に寄与しようとする意欲と態度を育てる。 ・授業態度・プリント・学習ノート・の記入状況および提出状況、実習記録表、実習作品、実技試験、定期考査の成績等から総合的に評価します。 							

平成 30 年度 年間シラバス (生徒配布用)

教科・科目	家庭・子どもの発達と保育	単位	2	履修区分	必履修	・選択			
対象学年・類型・コース	2年・総合学科・人間科学系列・生活福祉コース								
使用教科書	子どもの発達と保育 (実教出版)								
目標とする生徒の将来像	乳幼児の発達の特徴、乳幼児の生活と保育などに関する知識と技術を身につけ、子どもの健全な成長を図る能力と態度を養う。音楽・リズム、造形(折り紙)、言語(童話の読み聞かせ)、看護を手段とする表現技術の基礎を学び、保育検定4級レベルを目指します。								
評価の観点	<p>【関心・意欲・態度】乳幼児の発達の特徴、生活と保育などについて関心を持ち、子どもの健康な成長を図ることを目指して意欲的に取り組むとともに、実践的な態度を身についているか。</p> <p>【思考・判断・表現】子どもの健全育成、親子関係、少子化などについて見直し、現代の課題を見付け、その解決を目指して思考を深め表現できているか。</p> <p>【技能】乳幼児の発達の特徴、乳幼児の生活と保育などに関する技術を総合的に身についているか。</p> <p>【知識・理解】乳幼児の発達の特徴、乳幼児の生活と保育などに関する知識を総合的に身についているか。</p>								
学期	期間	単元・教材名	主たる目標			評価の観点			
1 学期	第2回定期試験	1 人間の発達の中の乳幼児期 2 発達期の変遷 ※表現活動（保育検定造形） 1 乳幼児の発育の特徴 ※表現活動（保育検定言語） ※表現活動（検定音楽・リズム） ※表現活動（保育検定看護） ○保育実習の事前事後学習 ※保育実習①（見学）	<ul style="list-style-type: none"> 人間の発達の中の乳幼児期の意義を知る。 「愛着と安全の基地」「乳幼児の能動性」について理解する。 折り図を読み取り、正しく折り紙を折ることができる。 鳥魚動物植物その他を2種類以上折ることができる。 発育・発達・成長の意味を知る。 乳幼児の身体及び生理的特徴を理解する。 子どもの発達段階にふさわしい言語表現ができる。 拍子を取りながら簡単な童謡を歌うことができる。 乳幼児の身体及び生理的特徴を理解する。 保育実習の意義や目的を理解し、主体的に実習に取り組む態度を身につける。 			【関・意・態】 【思・判・表】 【技】			
2 学期	第4回定期試験	1 子どもの養護 2 子どもの食生活と衣生活 3 子どもの遊び 4 子どもの生活習慣としつけ ○保育英習の事前学習・準備 ※保育実習② (児童文化財を使った実習) ○保育実習の事後学習 5 子どもの健康管理 6 子どもの事故と安全 7 子どもの生活と環境 ○保育園実習お礼作成	<ul style="list-style-type: none"> 子どもの発達段階に応じた適切な養護の方法について知る。 子どもの食生活と衣生活の特徴を理解する。 簡単な乳幼児食、おやつの調理ができる。 乳幼児の発達段階に応じた日常生活の世話をに関する基本的な知識を理解する。 保育所見学をふまえ、意義や目的を理解し、主体的に実習に取り組む態度を身につける。 実習報告会を通して、学習内容や成果などについて、情報を共有化できる。 総合的に自己評価できる。 生活習慣の習得の意義と重要性を理解する。 子どもの健康安全を守るために保育者の役割を理解する。 園児の発達段階にあわせたクリスマスカードを作成する。 			【関・意・態】 【思・判・表】 【技】 【知・理】			
3 学期	第5回定期試験	1 保育の意義 2 保育の目標と保育者の関わり 3 家庭保育と集団保育 ※児童文化財の製作 1 子どもの福祉とは	<ul style="list-style-type: none"> 人が育つことの意味とともに子どもの成長に果たす大人の役割を理解し、具体的な援助方法を知る。 家庭保育と集団保育の役割を理解する。 今までの授業をふまえ、教育おもちゃの作成をする。 子どもの福祉の基本的な考え方について理解する。 			【関・意・態】 【思・判・表】 【技】 【知・理】			
検定資格(時期) ・ 諸費用(予定)	<p>全国高等学校家庭科技術保育検定4級(前期7月・1分野200円×4分野) 音楽・リズム、造形(折り紙)、言語(童話の読み聞かせ)、看護の4分野</p> <p>前期で不合格だった場合、希望者は後期試験(後期1月・1分野200円)受験可能</p>								
履修にあたって	<ul style="list-style-type: none"> 「発達と保育」では、実習を通して乳幼児の生活や保育などに関する基本的な知識と技術を身につけます。特に保育検定4級レベルの学習をします。 授業態度・プリント・学習ノート・の記入状況および提出状況、実習記録表、実習作品、実技試験、定期考査の成績等から総合的に評価します。 								

平成30年度 年間シラバス（生徒配布用）

教科・科目	家庭・ファッショント造形基礎	単位	2	履修区分	必履修・必修	<input checked="" type="radio"/> 選択		
対象学年・類型・コース	2年・総合学科・人間科学系列・生活福祉コース							
使用教科書	ファッショント造形基礎（実教出版）							
目標とする生徒の将来像	ファッショント造形に関する基礎的・基本的な知識を習得し、デザインや用途に適した被服材料を選択して被服を計画的に製作することができる能力と実践的な態度を育てる。							
評価の観点	<p>【関心・意欲・態度】 - 衣服の構成・材料・製作について関心を持ち、衣生活の充実・向上を目指して意欲的に取り組むとともに、衣服を創造的に製作する態度を身に附けています。</p> <p>【思考・判断・表現】 - 衣服の製作について、目的に応じてどのような材料・デザインなどが適当かを判断する力を身に附けています。</p> <p>【技能】 - 製作題材を踏まえた技法を用い、計画に従って能率的に衣服の製作を行うことができる技能を身に附けています。</p> <p>【知識・理解】 - 衣服の構成・材料・政策の理論・技術について理解し、衣服を創造的に製作するために必要な知識を身に附けています。</p>							
学期	期間	単元・教材	主たる目標・付けたい力		主たる評価の観点・方法	自己評価		
1 学期	第2回定期試験	3章 洋服の製作 1節 製作の基礎	<ul style="list-style-type: none"> ・探寸方法法について理解する。 ・平面製図について、胸部原型・袖原型・スカート又はズボン原型があることを理解し、基礎的な理論や技法を習得する。 ・縫製に関する基礎的な事項を理解し、技法を習得する。 (並縫い、まつり縫い、半返し縫い、ボタン付け、ミシン縫い、三つ折り端ミシン、) 		【関・意・態】 【思・判・表】 【技】 【知・理】			
2 学期		2節 製作例 5. パンツの製作	<ul style="list-style-type: none"> ・洋服の製作の実習に際し、題材に応じた型紙の製作、裁断、縫製、仕上げを行う技法を習得する。 ・計画に従い、能率的に製作を行うことができる。 		【関・意・態】 【思・判・表】 【技】 【知・理】			
3 学期	第4回定期試験	4章 和服の製作 1節 製作の基礎	<ul style="list-style-type: none"> ・和服の構成の特徴を理解する。 ・和服の種類やその製作技法を習得する。 ・縫製に関する基礎的な事項を理解し、技法を習得する。 (本ぐけ、三つ折りぐけ、耳ぐけ) 		【関・意・態】 【思・判・表】 【技】 【知・理】			
	第5回定期試験	2節 製作例 2. 簡単な和服の製作 製作例：じんべい	<ul style="list-style-type: none"> ・和服の構成と製作に関する知識・技術を習得し、長着の製作をする。 ・和服の製作の実習に際し、題材に応じた型紙の製作、裁断、縫製、仕上げを行う技法を習得する。 ・計画に従い、能率的に製作を行うことができる。 ・作品に応じた適切な仕上げやたたみ方ができる。 		【関・意・態】 【思・判・表】 【技】 【知・理】			
	検定資格（時期） ・ 諸費用（予定）	基礎縫い：全国高等学校家庭科被服製作技術検定4級 600円 ハーフパンツ：全国高等学校家庭科被服製作技術検定3級 700円 じんべい：全国高等学校家庭科被服製作技術検定2級（和服） 1,200円						
	履修にあたって	<ul style="list-style-type: none"> ・「ファッショント造形基礎」では、実習を通して、衣服製作に必要な基礎的・基本的な技術を学びます。進度状況に差ができる科目ですので、授業時間内に間に合わなかった場合や欠席した場合には、放課後等を利用し、計画的に製作できるよう心がけてください。 ・授業態度・プリント等記入状況および提出状況、提出課題、実習記録表、実習作品、実技試験、定期考査の成績等から総合的に評価します。 						

平成 30 年度 年間シラバス（生徒配布用）

教科・科目	家庭・食文化	単位	2	履修区分	必履修	・ 選択
対象学年・類型・コース	2年総合学科・人間科学系列・生活福祉コース					
使用教科書	新版 基礎から学ぶ 「ビジュアル クッキング」（教育図書株式会社）					
目標とする生徒の将来像	① 栄養、食品、献立、調理などに関する知識と技術を身につける。 ② 健康で豊かな食生活を営むための食事のあり方について考え、実践することができる。 ③ 日本や世界の食文化について調査し、レポートにまとめ、発表をすることができます。					
評価の観点	<p>【関心・意欲・態度】豊かな食事を構成する要素について関心を持っているか。意欲的、積極的に課題解決しようとしているか。</p> <p>【思考・判断・表現】現代の食生活を見直し、課題を見つけ、その解決を目指して、学んだ知識・技術を生かしたいくつかの方法を比較検討し、意思決定をするなど工夫し創造しているか。</p> <p>【食事に関する自分の考え方を適切に表現しているか。</p> <p>【技能】日常食に関する基礎的・基本的な技術を習得しているか。食事のテーマに応じた献立作成や適切な食品材料の選択ができ、それに見合った調理の実践を行うことができるか。</p> <p>【知識・理解】食事を総合的にデザインする基礎的・基本的な知識などについて、実際の食生活の充実向上に役立つよう総合的に理解しているか。</p>					
学 期	期間	単元・教材名	主たる目標	評価の観点		
1 学 期	第2回定期試験	食文化について 食物調理技術検定3級	<ul style="list-style-type: none"> 日本の各都道府の食文化や地域の歴史などを調べ、レポートにまとめる。まとめたレポートを発表し、相互評価をし合う。 調理実習（検定3級指定献立） 食物の基本的知識の習得。 食品の概量が理解できるように、目測試験を行う。 		【関・意・態】 【思・判・表】 【技】 【知・理】	
2 学 期	第4回定期試験	食物調理技術検定3級レベルの知識と技術 行事食	<ul style="list-style-type: none"> 調理実習（検定3級指定外献立） 調理実習内容の基礎知識について学ぶ。 (だしの取り方、食材の切り方、炒め物の基本等) 行事食について学び、実習を行う。 		【関・意・態】 【思・判・表】 【技】 【知・理】	
3 学 期	第5回定期試験	世界の食文化 まとめ	<ul style="list-style-type: none"> 世界の食文化について調査し、レポートにまとめる。まとめたレポートを発表し、相互評価をしあう。 行事食の調理実習を行う。 使用する食材の扱い方、基本的な調理技術等を学ぶとともに、行事と調理の関連性を理解する。 		【関・意・態】 【思・判・表】 【技】 【知・理】	
検定資格（時期） ・ 諸費用（予定）	全国高等学校家庭科技術食物調理検定3級（前期7月・700円） 前期で不合格だった場合、後期試験（後期1月・300円）を受験する					
履修にあたって	<ul style="list-style-type: none"> 食文化では、全国高等学校食物調理技術検定3級合格レベルの知識・技術を学んでいきます。 調理実習が多いので、エプロン・三角巾の準備、爪を短く切る・髪をまとめる等、身支度を調べて取り組んで下さい。 レポート作成を行うため、自ら学ぼうという強い意志のもと積極的に取り組んで下さい。 授業態度、プリントの記入状況および、提出状況、実習、定期考査の成績等から総合的に評価します。 					

平成30年度 年間シラバス（生徒配布用）

教科・科目	福祉・社会福祉基礎	単位	2	履修区分	必履修	・選択			
対象学年・類型・コース	2年・総合学科・人間科学系列・生活福祉コース								
使用教科書									
目標とする生徒の将来像	1. 社会福祉に関する基礎的な知識と技術を習得し、社会構造の変容やライフスタイルの変化が社会福祉の進展にどのような影響を及ぼしているか考える力を身につける。 2. 現代社会における社会福祉の意義や役割などについて理解し、社会福祉の基本的な見方や考える力を身につける。 3. 対人援助のあり方や社会福祉制度の基礎的な理解、社会福祉に関する諸課題の解決等、社会福祉の向上を図る能力と態度を身につける。								
評価の観点	【関心・意欲・態度】 ・介護に従事する者として人間の心身に关心をもち、より安全で安楽な介護技術の提供を目指して意欲的に取り組もうとしている。 【思考・判断・表現】 ・より安全で安楽な介護技術の提供を目指して、人間の心身に対する思考を深め、尊厳ある接し方について多面的・多角的に考察している。 【技能】 ・人間の心身の構造や機能を理解した上で、要介護者に対する安全、安楽な介護技術を身に付けている。 【知識・理解】 ・要介護者に対し安全、安楽な介護技術を提供するための、人間の心身の構造や機能に関する基礎的な知識を身に付けていく。 ・安全、安楽な介護技術を提供するためには、人間の心身の構造や機能を理解する必要があるということを理解している。								
学期	期間	単元・教材	主たる目標・付けたい力			主たる評価の観点・方法			
1 学 期	第2回 定期試験	第1編 社会福祉の理念と意義 第1章 生活と福祉 第2章 社会福祉の理念 第3章 人間の尊厳と福祉社会の創造	・少子高齢化が社会に及ぼす影響、そこから生じる新たな課題について理解させる。 ・地域社会が変化していく中で望ましい「まちづくり」のあり方を理解させる。			【関・意・態】 【思・判・表】 【技】 【知・理】			
		第2編 社会福祉の歴史と福祉社会の課題 第1章 海外における社会福祉 第2章 日本における社会福祉	・ノーマライゼーションの思想を生み、実現した北ヨーロッパにおける福祉国家の形成について理解させる。 ・日本における近代社会福祉の誕生とその社会的背景を理解させる。						
2 学 期	第3回 定期試験	第3編 生活を支える社会福祉・社会保障制度 第1章 社会福祉・社会保障制度の意義と役割	・社会保障度の財源が年々増えていることを理解させる。 ・社会福祉制度は、社会保障制度の一環であり、子どもや高齢者、障害者等様々なサービスがあることを理解させる。			【関・意・態】 【思・判・表】 【技】 【知・理】			
	第4回 定期試験	第2章 子ども家庭福祉 第3章 障害者福祉 第4章 高齢者福祉 第5章 生活支援のための公的扶助	・障害のある子どもに対する児童福祉、母子保健、学校教育といった場での支援体制について理解するとともに、生活中で生じた課題にどう対処していくかを考察する。 ・障害者の定義について理解させる。 ・在宅福祉サービスの必要性を考えさせる。 ・最低限度の生活を保障するために要保護者の状況に即した保護基準が必要であることに気づかせる。				【関・意・態】 【思・判・表】 【技】 【知・理】		
3 学 期	第5回 定期試験	第6章 国民生活を支える社会保障制度 第5編 地域福祉の進展と多様な社会的支援制度 第2章 多様な社会的支援制度	・社会保険の役割や特徴を理解させる。 ・医療保険制度の種類、各保険者・被保険者、各内容について理解させる。 ・権利擁護、成年後見制度、日常生活自立支援事情のしくみについて理解させる。			【関・意・態】 【思・判・表】 【技】 【知・理】			
	検定資格（時期） ・諸費用（予定）	授業用ファイル50円（徴収予定）							
履修にあたって	・社会福祉基礎の知識は、人々が生活しやすい社会をつくりだすために、現代を生きるすべての人々に求められている必須の教養です。介護職員初任者研修のカリキュラムに含まれている科目ですので、外部講師の講義には必ず参加しなければなりません。日頃の体調管理も含め、服装や授業態度に注意し、毎時間真剣に取り組みましょう。 ・授業態度・プリントの記入状況および提出状況、DVDの視聴状況、実技試験、筆記試験の成績等から総合的に評価します。								

平成30年度 年間シラバス（生徒配布用）

平成30年度 年間シラバス（生徒配布用）

教科・科目	福祉・介護福祉基礎	単位	2	履修区分	必履修	・必修	・選択				
対象学年・類型・コース	2年・総合学科・人間科学系列・生活福祉コース										
使用教科書	介護福祉基礎（実教出版）										
目標とする生徒の将来像	介護を必要とする人の尊厳の保持や自立支援など介護の意義と役割を理解する。 介護を適切に行う能力と態度を身につける。										
評価の観点	<p>【関心・意欲・態度】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・介護に従事する者として人間の心身に关心をもち、より安全で安楽な介護技術の提供を目指して意欲的に取り組もうとしている。 <p>【思考・判断・表現】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・より安全で安楽な介護技術の提供を目指して、人間の心身に対する思考を深め、尊厳ある接し方について多面的・多角的に考察している。 <p>【技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・人間の心身の構造や機能を理解した上で、要介護者に対する安全、安楽な介護技術を身に付けている <p>【知識・理解】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・要介護者に対し安全安楽な介護技術を提供するための人間の心身の構造や機能に関する基礎的な知識を身に付けている。 										
学期	期間	単元・教材	主たる目標・付けたい力				主たる評価の観点・方法				
1 学 期	第2回 定期試験	第1編 介護の意義と役割 第1章 尊厳を支える介護 第2章 介護従事者の倫理 第2編 介護を必要とする人の理解と介護 第1章 高齢者の生活と介護	<ul style="list-style-type: none"> ・人間としての尊厳と基本的人権とは何かを理解する。 ・生活の質と高齢者介護について、より広い概念で生活をとらえ、生活の質を高める援助を目標としていることを学ぶ。 ・尊厳あるケアとはその人の存在を認め意思を尊重することであることを学ぶ。 ・人間関係を形成するための最も基本的な技術であるコミュニケーションについて理解し、実践する。 ・介護の目的を達成するために観察を行うことを理解する。 ・運動・移乗介護の実習を行う 				【関・意・態】 【思・判・表】 【技】 【知・理】				
2 学 期	第3回 定期試験	第2章 障害者の生活と支援	<ul style="list-style-type: none"> ・障害とは何かを学ぶ。 ・障害についての考え方（国際障害分類、国際生活機能分類）について理解する。 ・各種障害の生活のあり方とその支援の方法を学ぶ。 ・各種介護サービスの役割、利用方法、特徴について理解する。 				【関・意・態】 【思・判・表】 【技】 【知・理】				
	第4回 定期試験	第5編 介護福祉サービスの概要と連携 第1章 介護サービスの概要 第2章 介護における連携	<ul style="list-style-type: none"> ・介護に関わるさまざまな職種について学び、さまざまな職種が効果的関わるために、連携したチームづくりが重要なことを理解する。 				【関・意・態】 【思・判・表】 【技】 【知・理】				
3 学 期	第5回 定期試験	第6編 介護における安全確保と危機管理 第1章 介護における安全確保と事故対策 第2章 感染対策 第3章 介護従事者の健康管理	<ul style="list-style-type: none"> ・福祉施設におけるリスクマネジメントについて学ぶ。 ・感染症について理解し、感染症に関する法律なども学ぶ。 ・介護をする人が健康でなければ、よい介護はできないことを知り、心の健康管理も含め、ヘルスプロモーションの考え方を学ぶ。 				【関・意・態】 【思・判・表】 【技】 【知・理】				
検定資格（時期） ・諸費用（予定）		授業用ファイル50円（徴収予定）									
履修にあたって		<ul style="list-style-type: none"> ・高齢者や障害のある人々のだれもが人として尊重され、社会の一員として幸せな生活を築いていけるような援助ができる人になれるよう、また、社会状況の変化に対応できる専門職として期待される人になれるよう、しっかり学んで下さい。 ・授業態度・プリントの記入状況および提出状況、DVDの視聴状況、実技試験、筆記試験の成績等から総合的に評価します 									